

8. 人的な事業推進態勢の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」(協会=Associationから作った造語)と呼んでおり、2009年度も、ボランティア(のべ213人、実数135人)と有給専従スタッフ(事務局員24人)が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。

具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」「財務・基金運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体合宿(11月の「一泊創出会議」、3月の「事業計画会議」)を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

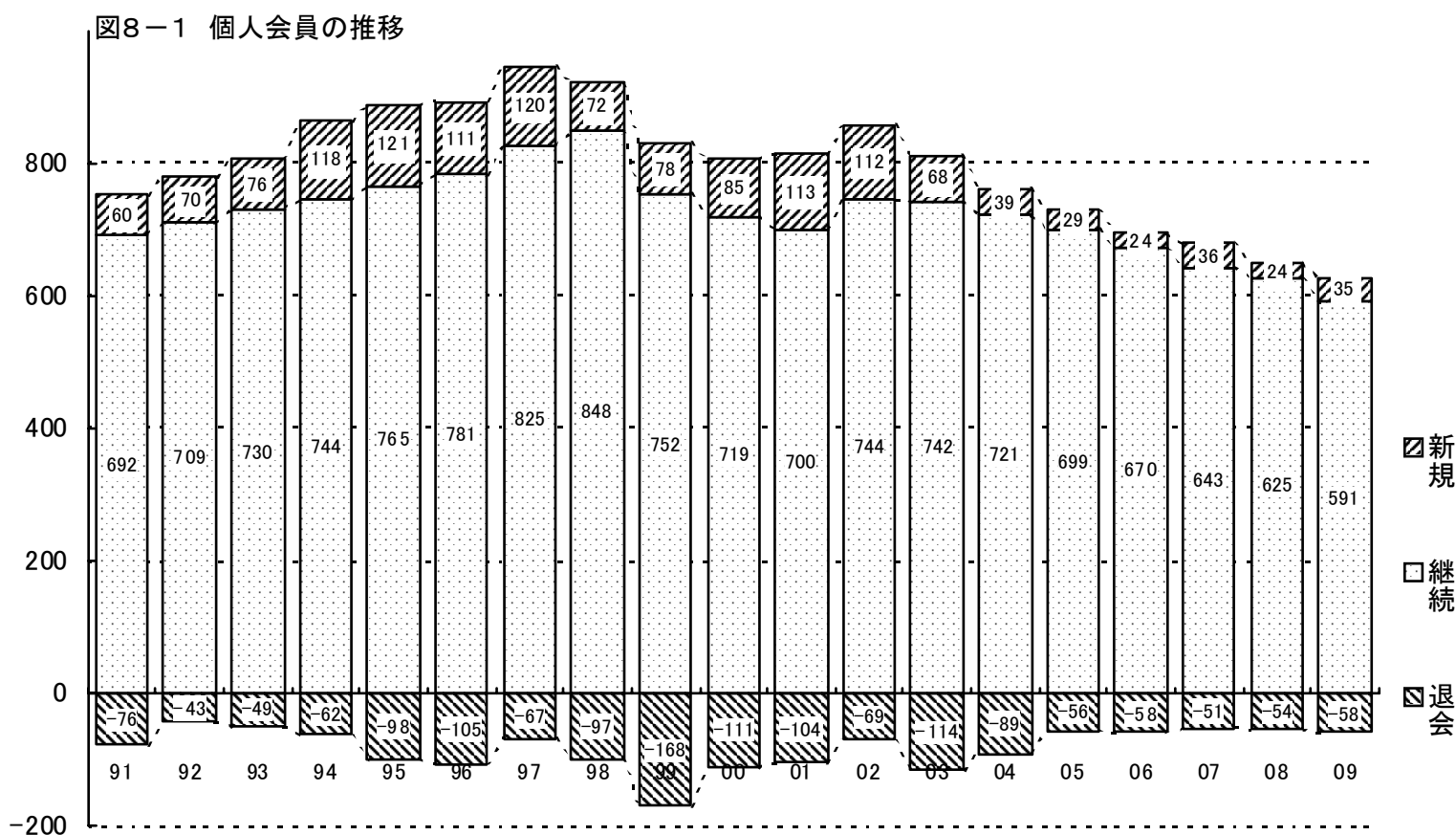
1. 会員の拡大

(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。2009年度は高齢などを理由に退会される会員や、連絡がないまま会費の納入が滞っている会員の退会で個人会員が減るとともに、大阪本社企業の東京移転で企業のご支援も困難な状態が続いている。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている(財)皓養社・前理事長 中納久昭氏である。〔下表で()内は昨年度実績〕

表8-1 2009年度の会員の異動状況 (カッコ内は前年同期実績)

	2009年4月	新規加入	退 休 会	2010年3月
特 別 会 員	1 人	0 人	0 人	1 人
個 人 会 員	649 (679) 人	35 (24) 人	58 (54) 人	626 (649) 人
(内、生涯会員)	15 人	6 人	2 人	19 人
団体賛助会員(企業)	63 (64) 社	1 (2) 社	5 (3) 社	59 (63) 社
団体賛助会員(非営利)	10 (12) 社	0 (1) 社	1 (3) 社	9 (10) 社
合 計	723 (756)	36 (27)	64 (60)	695 (723)



(2) 会員拡大に向けた努力

①. 会員限定通信誌『The ボラ協』の内容

5・6月号	メイキング・オブ「ボランティア～出逢い」／念願の！会員募集パンフレットができました！／3つの「シン」で振り返る 2009年度に向けた事業計画会議
7・8月号	2009年度定期総会・記念講演会レポート／定期総会報告／退任あいさつ・着任にあたって／2009年度アソシエーターのご紹介
9・10月号	THE将来ビジョン／「ボランティアリズム研究所」開設記念フォーラムのお知らせ
11・12月号	財務・基金運営委員が語る－協会のおカネの話、大特集！／「ボランティア・市民活動ライブラリー」蔵書データベース整備リニューアル事業 姫田忠義さん作品上映会&講演会レポート
1・2月号	年頭のご挨拶／市民活動川柳／2009年度一泊創出会議／ボランティアリズム研究所岡本榮一所長インタビュー
3・4月号	タイムトリップ「THEボラ協」／ゆき先生と「ウォロ」読者会／「ボランティアスタイル」始まる！

②. 会員コミュニケーションプロジェクトの動き

協会の支援者を増やすため、会員の維持・拡大について検討する「会員コミュニケーションチーム」を設置。09年9月～10年1月に会員拡大キャンペーンを実施し、講座・書籍等の1,000円割引券とONPカフェでのスイーツ引換券を特典として、11人の新規入会を得た。

③. 寄付および会費自動納入システムの運営

2001年度より近畿労働金庫、02年度より郵便貯金で、それぞれ会費等の自動引き落とし制を開始。金融機関に出向かずとも会費を納入できるようになった。2009年度末の利用会員は、近畿労働金庫：9人、郵便貯金：32人である。

なお、特に個人会員に焦点を当てて実施している会員向け事業は、以下のとおりである。

- A. 市民活動総合情報誌『ウォロ (V o l o)』の年間購読料割引
- B. 協会発行図書や協会主催講座の割引、会員研修(総会時)の無料招待
- C. コピー、簡易印刷機、紙折機など協会備品の無料使用(消耗品実費分は有料)
- D. 会員メーリングリストの加入 など

2. 組織活動

(1) 理事会(第48～51回)の開催

2009年度は、第2代理事長として17年間にわたり協会をリードして来られた岡本榮一前理事長が退任され、新たに牧里毎治理事長のもとで事業を進めることになった。なお岡本前理事長は顧問に就任いただくとともに、新設の「ボランティアリズム研究所」所長として、引き続き協会事業に関わっていただくこととなった。

- ①第48回 開催日：2009年 5月26日、出席理事：17人(うち書面出席7人)、欠席0人
議案：①2008年度事業報告および決算報告 ②2009年度補正予算について ③定款の一部変更(理事・評議員の定数減員)について ④就業規則の一部改正について ⑤評議員の改選について ⑥理事・監事の改選について[評議員会審議事項]
- ②第49回(臨時開催) 開催日：2009年 7月15日、出席理事：15人(うち書面出席7人)、欠席0人
議案：①理事長の選任(岡本榮一氏から牧里毎治氏へ交代) ②常務理事の選任
- ③第50回 開催日：2009年11月17日、出席理事：15人(うち書面出席8人)、欠席0人
議案：①2009年度上半期実績および上半期収支実績について ②2009年度下半期事業計画および第2次補正予算について ③一部・理事の交代について[評議員会審議事項]
- ④第51回 開催日：2010年 3月30日、出席理事：15人(うち書面出席8人)、欠席0人
議案：①2010年度事業計画および予算について ②役員の一部改選について(理事の交代[評議員会審議事項]、評議員の交代[理事会審議事項]) ③役員報酬および費用弁償規定について

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議

するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局次長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会(第48~50回)の開催

- ①第48回 開催日：2009年 5月26日、出席者：21人、欠席14人
- ②第49回 開催日：2009年11月17日、出席者：22人、欠席 9人
- ③第50回 開催日：2010年 3月30日、出席者：22人、欠席 9人

※ 各回とも同日に開催した理事会に付した議案を、あらかじめ審議するとともに理事を選出した。

(4) 監事会の開催

開催日：2009年5月11日(月)、出席監事：3人

内容：「2008年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2009年度定期総会)の開催

開催日：2009年5月23日(土)

会場：大阪NPOプラザ 3階会議室

出席：299人(うち委任状提出者234人)

内容：

- 1部＝記念講演会「塀の中で見た累犯障害者という課題～今・社会に必要なこと」
講師：山本義司(元衆議院議員)
参加者＝117人(うち会員以外の参加者 37人)
- 2部＝①2008年度事業報告案と決算報告案について、②2009年度事業計画案と予算計画案について、③次期評議員推薦候補者について、④アソシエーターへの委嘱状交付
- 3部＝岡本理事長お疲れさま会(第2代理事長としてご活躍いただいた岡本先生に感謝する集いとして開催)



協会の総会は「脱・シャンシャン総会」。事業報告、事業計画案、決算、予算案の説明を受けた後、小グループに分かれて活発に意見交換します。事業に対する提案や協会への期待など、多くの意見が交わされます。

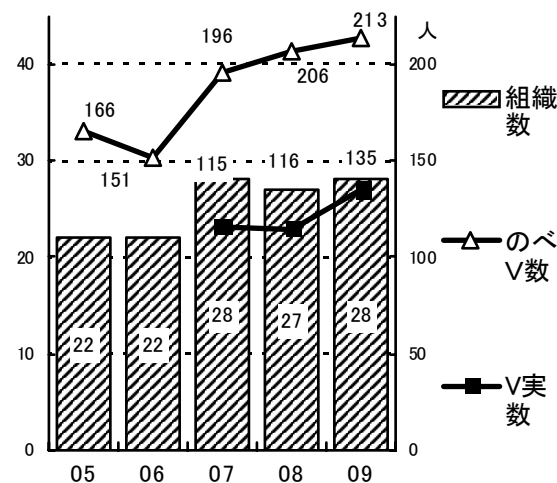
3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チームなどの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

チーム、委員会の数は事業の終了と新設によって同水準になったが、新規事業をスタートさせた結果、アソシエーターのべ307人(前年度同人数)[うち、ボランティアのべ213人(同206人)と微増]、実数は135人(同116人)と増加した。

なお、2009年度より、職員がボランティアとして事業に参加している場合は、明確に区別してより正確にカウントするようにした。それにとともに2005年度から2008年度の、のべボランティア数も併せて修正した。

図8-2 事業への市民参加



(1) NPOのボランティア推進チーム

(チーフ・今村澄子、ボランティア＝V4人、職員2人)

- ①協会のボランティア参加環境の整備、②他のNPOのボランティア参加推進を目的に活動。

2009年度は協会のボランティアスタッフが効果的に事業を進められるよう、ボランティアスタッフの公募、「アソシエーター新人研修」の企画と実施に取り組み、アソシエーターの増加に貢献した。また、他団体のボランティア受入れ状況を把握するため、ヒアリングを行った。

(2) 一泊創出会議、一泊事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。

毎年秋に開催している「一泊創出会議」では、将来ビジョンを受けて、既存事業の総点検を実施。客観的な指標を設定し、事業効果を数値で表現して、今後の事業の方向性を議論した。また、将来ビジョンを受けて、事業の具体化に向けて、その方策を検討した。

また3月に開いた「事業計画会議」では、チーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた20

09年度の取り組みに対する評価と、2010年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図っている。その後にかかれる理事会・評議員会に提案される事業計画書・予算書は、この合宿を経てまとめられる。このように協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

- ・一泊創出会議：2009年11月7日(土)～8日(日)、31人参加。第1部「将来ビジョン実現に向けたボラ協事業総点検!」、第2部「市民セクター拡充に向けてボラ協は何ができるか?」、第3部「将来ビジョンコア事業の具体化に向けて」として、事業の評価と将来ビジョンの具体化について話し合った。
- ・事業計画会議：2010年3月20日(土)～21日(日)まで、48人が参加。昨年度に引き続き、センター別に事業ごとに5分のプレゼンテーションを実施し、バズセッションによる意見交換やフィードバックシートによる参加方法を工夫し、活発な意見交換を行った。

(3) 常任運営委員会 (委員長 延岡 敏也、委員V13人、職員4人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。なお委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。(定例日 原則第4火曜、午後7～9時、福島区野田事務所)
 <委員> 延岡敏也(委員長)、岡本友二、今村澄子(以上、副委員長)、井上小太郎、久保友美、小林義彦、筒井のり子、名賀 亨、西江孝枝、吐山継彦、福島義弘、増田宏幸、村岡正司、早瀬 昇、水谷 綾、永井美佳、岡村こず恵

<主な協議内容> 次期理事・評議員の選定、「定期総会」の持ち方、「日本青年奉仕協会(JYVA)の自己破産」について、新事業「市民参加と裁判員制度」企画、「スペシャルオリンピックス日本」からの事業受託、北区同心事務所の態勢強化、大阪府法人指導監査についての報告、「ボランティアリズム研究所」開設記念フォーラム、将来ビジョンの「コア事業」、次期事務局長人事について、「一泊創出会議」での課題、来年度の新規職員の採用計画、「裁判員学習会」の今後の展開、韓国自願奉仕連合会との年次交流の今後のあり方、「事業計画会議」のプログラム、「市民活動推進センター」立ち上げに向けての組織再編、大阪府の監査を受けた今後の法人運営のあり方、JYVA破産に伴う訴訟への組織的対応、パートナー登録見直しに伴う会員制度の見直しの進め方、など

・「将来ビジョン検討委員会」の取り組み (委員長・延岡敏也、他V4人+職員5人)

2015年の協会像を見据えた中期の方針を出すために設置され、2009年度は3回の協議を重ね、7月に最終答申を提出した。

<ボランティア委員> 延岡敏也(委員長)、上林康彦、小林義彦、筒井のり子、増田宏幸

<事務局委員> 早瀬 昇、水谷 綾、永井美佳、岡村こず恵、梅田純平

(4) 財務・基金運営委員会 (委員 V6人+職員4人)

常任運営委員会の諮問機関として、財政運営や基金の管理運営を検討するために設置。年5回開催した。

<ボランティア委員> 井上小太郎、岡本榮一、平手清、松井淳太郎、三砂 孝、山元弘久

<事務局委員> 早瀬 昇、水谷 綾、永井 美佳、松下仁美

<主な協議内容> 決算(四半期毎)・予算(+補正予算)・月次収支の確認、基金や積立金の運用にかかる定期預金や公社債の管理、団体賛助会員への対応など

(5) NPO推進センター運営委員会 (委員長・阿部圭宏、他V4+職員7人)

NPO推進センターが主として取り組む事業の企画・評価・戦略的事業推進の向上を図る場として設置。2009年度は4回(夏1・秋1・冬2)開催し、概ね2時間程度で議論を重ねた。

<ボランティア委員> 阿部圭宏(委員長)、岡本友二、石原真弓、吐山継彦

<主な協議内容> 「将来ビジョンについて」「将来ビジョンを受けて具体的方策について」「パートナー登録制度の見直しについて」「創出会議に向けた事業評価について」「『市民活動センター』の組織改編の在り方について」「2009年度の事業評価と2010年度のNPO推進センターの役割について」などを議論した。

・「NPO支援センター向け事業開発部会(KNN世話人会)」の取り組み (委員 V7人+職員2人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。「関西NPO支援センターネットワーク(KNN)」の企画に組み込み、4回の協議を重ねた。

<ボランティア委員> 石原真弓、川畑恵子、坂田慶子、須貝昭子、中村仁美、堀江利代、堀野亘求

(6) 企業市民活動推進センター運営委員会 (委員長・井上小太郎、V7+職員3人)

企業市民活動推進センターの戦略と事業全般の強化について検討する場として開催。2008年度はCCCの次なるアクションはどうあるか、を検討した。

- ＜ボランティア委員＞ 井上小太郎(委員長)、尾崎 力、楠 正吉、小林義彦、原田京子、廣田浩一、松井淳太郎
 ＜主な協議内容＞ 企業向けPR等推進のための連携プロジェクトについて、企業の基金運営助成事務局に関する相談について、CCC戦略・重点事項を考える、CSR応援するNPOネットの取り組みと経過報告と調査内容について、企業市民大学の企画について、総括と来年度の重点について

(7) コーディネーション事業戦略推進委員会 (委員長・筒井のり子、他V6人+職員6人)

協会のボランティアコーディネーション事業の水準向上のために設置。2009年度は11回開催、おおむね2時間の協議を重ねた。

- ＜ボランティア委員＞ 筒井のり子、石井祐理子、岩本裕子、海士美雪、垂井加寿恵、南 多恵子
 ＜主な協議内容＞ 初任者向けボランティアコーディネーター講座を企画、実施。ボランティア活動希望者向けパンフレットの作成、フォローアップアンケートの内容などを検討。また、組織再編に伴い協会のコーディネーション事業の位置づけと事業内容の整理を行った。

(8) 市民力向上事業運営委員会 (仮称)

「市民力向上事業運営委員会」「ボランティアコーディネーション事業戦略推進委員会」「NPO推進センター運営委員会」の3つの委員会を1つに合わせた「ボランティア・NPO推進センター運営委員会」を発足させるにあたり、新組織の在り方についての議論が継続中のため、2009年度の「市民力向上事業運営委員会」新規発足は見送った。2010年度に、新しい検討の場を発足予定。

(9) チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

A. 推進チーム (12チーム、ボランティアのべ95人)

- ①. 「自治の学校」運営チーム (チーフ・今村澄子、15+2人。月1回)
- ②. 裁判員ACTチーム (チーフ・川畑恵子、6+2人。月1回)
- ③. NPOのボランティア推進チーム (チーフ・今村澄子、4+2人。月1回)
- ④. 「ボランティアスタイル」チーム (委員長を決めず、4+5人。4回)
- ⑤. 「市民活動サロン遊学亭」運営チーム (チーフを決めず、6+1人。随時)
- ⑥. 「ONPカフェ」推進チーム (チーフ・黒田 綾、11+2人、随時)
- ⑦. ITボランティアチーム「むくどり」(チーフ・廣田浩一、9+2人。月1回)
- ⑧. 英語情報発信強化チーム『Eボラ(イーボラ)』(チーフ・今村澄子、5+1人。月1回)
- ⑨. 「市民活動年表」研究チーム (チーフ・岡本榮一、13+1人。随時)
- ⑩. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム (チーフ・久保友美、7+2人。随時)
- ⑪. 映像製作発信チーム『トライポッド』(チーフを決めず、9+3人。随時)
- ⑫. 北区事務所活用検討チーム「同心同志会」(チーフを決めず、6+3人、随時)

B. ワーキングチーム (2チーム、ボランティアのべ11人)

- ①. 「ボランティアスタイル」企画会議 (チーフを決めず、9+9人、4回)
- ②. 大阪ボラ協と応援センターとの協働関係検討会議 (チーフを決めず、応2+協4人、随時)

C. 専門委員会 (9委員会、ボランティアのべ69人)

- ①. 「V o l o (ウオロ)」編集委員会 (委員長・吐山継彦、23+5人。月1回)
- ②. 出版委員会 (委員長・牧口 明、8+3人。年2回)
- ③. 「ボランタリズム研究」編集委員会 (委員長を決めず、5+3人。年3回)
- ④. 「新・理論本」編集委員会 (委員長を決めず、3+10人。年9回)

- ⑤. 多文化共生事業委員会(仮称)検討会(委員長を決めず、4+4人。月1回)
- ⑥. 関西NPO会計税務研究会(委員長を決めず、6+1人。随時)
- ⑦. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会(委員長を決めず、9+3人。隔月1回)
- ⑧. 「Theボラ協」編集委員会(委員長を決めず、7+2人。隔月1回)
- ⑨. 会員コミュニケーションチーム(チーフを決めず、4+5人、年6回)

4. 事務局体制の充実

(1) 職員研修の実施

開催日：2009年5月16日(土) 会場：大阪NPOプラザ 参加者：職員13人
 内容：①各担当業務に関する目標設定+現状認識の発表と意見交換
 ②情報交流スペースの整理業務

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長、事務局主幹の4人で、毎月1回開催。職員研修、事務局体制、法人事務、合同事務局会議などのプログラム整理などにあたった。

(3) 2009年度の事務局体制

2009年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員11人、非常勤職員14人であり、雇用形態別では正職員10人、嘱託職員3人、アルバイト12人であった(年度途中の退職者・入職者を含む。以下、敬称略)。

※ ボランティアをV、NPO推進センターをNC、大阪NPOプラザをONP、企業市民活動推進センターをCCCと略記

早瀬 昇(常務理事・事務局長、全事業統括、総務、渉外、人事等)

【正職員】水谷 綾(事務局次長、市民活動推進全般統括、CSR推進、常任運営委、研究所、裁判員ACT等)、永井美佳(事務局主幹、財務・労務、ONP所長、勤労者V活動促進事業、出版事業統括等)、岡村こず恵(事務局主幹、講師派遣調整、市民力向上事業、NC事業、自治の学校、Nボラ等)、江渕桂子(会員、ONP、大阪NPO情報ネット、NPO支援センターネットワーク、むくどり等)、影浦弘司(CCC、ウォロ、ライブラリー)、白井恭子(Vコーディネーション、KVネット、大学Vセンター担当者会議、遊学亭等)、梅田純平(障害者Vコーディネーション、語り手講座・手話講座、会場利用登録、スペシャルオリンピックス日本協力等)、奈良雅美(Vコーディネーション、多文化共生事業検討、パートナー登録、Eボラ、真如苑調査等、阪急阪神助成等)、金治宏(ONPカフェ、ONP管理業務、等)

【嘱託職員】塩谷邦子(経理、社会保険等)、大谷 隆(出版編集、トライポッド、むくどり等、月15日勤務)、松下仁美(総務、局長講師派遣調整等、週4日勤務)

【アルバイト】藤本勝代(V募集情報整理等)、保村美佐江(出版販売、ONP・北区事務所会館運営)、久保友美(ライブラリー整備)、森本正史(ONP会館運営)、板井龍市(ONP会館運営)、宮原賢一郎(北区事務所夜間窓口対応;6月迄)、畑田 貢(大阪NPO情報ネットデータ整理、ONP会館運営)、山下輝夫(ONP・北区事務所会館運営)、山田美樹(ONP会館運営)、高畑真実(障害者Vコーディネーション等)、山口晴香(障害者Vコーディネーション等)、丸山敏夫(ライブラリー整備)

【ボランティア】

【事務局支援】平手 清

【ウォロ(volo)]朝井翔二(『volo』のカット作成)。元・久の会、トミの会、岡本佳子、岸田和弘、友金英治、中野伊津子、深野久雄、福満奈都、吉中広子(以上、『volo』の発送支援)。

【ザ・ボラ協】森山 孝(『ザ・ボラ協』校正)。

【フィランソロピー・CSR・リンクアップフォーラム】鈴木真紀(フォーラムの受付等)

なお、2010年3月末に板井、4月末に大谷、5月末に早瀬が退職。2010年度より山本佳史が入職。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。